



●編集発行●

名張市総務部総務室市史編さん担当
〒518・0718 名張市丸之内54・8

☎0595・64・2249

記録と保存の大切さ

—史料整理の中で—

市では、新たな『名張市史』の刊行と共に資料編の基となるさまざまな調査や記録保存作業を行っています。例えば、旧家や寺、神社、地域、講などに残されている紙や板木に書かれている文書などの記録保存をしています。

時代の変革により昨今の生活様式は、ものすごいスピードで変わっていき、それまで長く受け継がれてきたものも急速に失われつつあります。東日本大震災においても人命と共に多くの貴重な資料が失われましたが、また、一方で明治の津波被害を記した石碑まで逃げたことにより、救われた命があったことも報道されていました。まさに「温故知新」先人たちが残してくれた貴重な財産が今に役立つのです。

現在、市史編さん担当では市内

の旧家に残されていた幕末期の史料を整理分類中ですが、この史料群を調べることで、幕末期の藤堂藩や名張藤堂家の様子を垣間見ることが出来ます。

幕末といえば、新撰組をはじめ坂本竜馬、篤姫など多くの人物や出来事がドラマや映画などで取り上げられ、「歴史女」(注)に代表されるように一大ブームとなつていますが、藤堂藩が重要な役割を果たしていた事実は、意外に知られていません。

戊辰戦争で藤堂藩は、伊賀の鉄砲隊を主力とした藩兵が鳥羽伏見の戦いで新撰組に砲撃を加えたり、江戸寛永寺で彰義隊と交戦し、函館の五稜郭の戦いにも従軍しているのです。この戦いで倒れた名張の18歳から25歳までの若者3人を含んだ伊賀の藩兵たち43人が上

野城公園内の「彰忠碑」に刻まれています。

このような有名な史実に関する史料も重要ではありませんが、わたしたちのもっと身近な地域において、ほんの数十年前の出来事を調べる際においても、なかなか資料などが残っていないことが多くあります。一面、田んぼだったところが開発により住宅団地や商業施設になり、在りし日の田園風景の写真を探し出すことは非常に困難です。

つまり、今この時の何気ない日常を記録として残していくことが何十年か後は、貴重な資料となってくるのです。すべての記録を残すということは、難しいことですが、こういう心掛けが大切なことだと思います。

古文書を調査していると、奇跡的に残していたおかげで、わたしたちは、今この時代に当時

名張市史第1巻 「名張市史 資料編 考古」 販売中



書籍版…5,000円 CD-ROM版…1,500円

販売場所

総務室市史編さん担当事務所
(名張市丸之内54・8 旧老人福祉センター / 名張藤堂家邸隣 / ☎64・2249)
または、市役所2階総務室
※郵送希望の方は、総務室市史編さん担当へお問い合わせください。

☆☆☆☆☆☆☆☆

「おきつもの名張 今と昔」 販売中



市制50周年を記念して刊行した名張の1万2千年を自然・歴史・暮らしで見開き2ページの読みきり85項目で学ぶガイドブックです。

◎総務室市史編さん担当事務所と名張藤堂家邸窓口で購入いただけます(定価800円)。

市史編さんに必要な資料・情報をお寄せください

- ・墨で書かれている古文書や板木
- ・区や組合、講などで引き継いでいる書類
- ・日誌や思い出を綴った絵日記など
- ・懐かしい風景や行事の写真、スケッチ
- ・仕事道具、生活用具、玩具などの民具
- ・土地の言い伝え、昔話
- ・神社やお寺に関する書類
- ・地元の様子を描いた絵図や絵画、図面
- ・古い新聞や雑誌、広告、ポスター
- ・戦争体験や戦中、戦後の暮らし
- ・石碑、お地蔵さん、古いお墓などの石造物
- ・方言、山・川・谷などの地名 など

注 歴史好きの女性。特に幕末や戦国武将に関心をもち、時代小説や史跡めぐりを好む女性。

市史編さん担当より

また、地域でこういったものを調べているが、何か市史編さん担当で資料がないかなどお気軽にお問い合わせください。